

授業科目名	政治学特論（行政学Ⅰ）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	行政の原理について知る	担当者	武藤 桂一			
講義概要	<p>【概要】 現代社会において行政は大きな役割を果たしており、今日の国家現象は「行政国家」とも呼ばれます。しかしながら、こうした「行政」を我々は意識することなく他人任せにして、知らないうちに損をしている事が実は多いのです。本講義では、「行政」について学ぶことで皆さんが自らにとってより良い社会を作る一員となるための基盤を作ることを目指します。</p> <p>【到達目標】 行政に関する基礎的知識を身に付けることで、日々のニュースが理解できるようになるだけでなく、報道されている事実からその背景となっている問題点などについて自ら掘り下げて考えることができるようになる。</p>					
履修条件	将来公務員を目指す人はもちろん、「官僚」って何をやっているのだろうかとか、「事業仕分け」とは一体何だったのかとか、とにかく世の中について知ってやろうなどと思う全ての人の受講を望みます。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 教科書は使用せずに毎回レジュメを配布しますが、主要参考文献として、風間規男編『行政学の基礎』（一藝社、2007年）を挙げておきます。</p> <p>【参考書】 毎時間その回の講義内容に関連した文献を適宜提示します。</p>					
授業回数	内容（講義内容・講義順は社会情勢等により変更することがあります）					
1	ガイダンス・行政学を学ぶ意義					
2	行政国家と行政					
3	日本の政治・行政関係					
4	行政学の歴史					
5	官僚制の理論					
6	公務員制度と人事システム					
7	行政における組織					
8	予算と財政					
9	政策決定過程					
10	政策の実施と評価					
11	行政改革					
12	行政と市民参加					
13	行政活動の実際（1）福祉					
14	行政活動の実際（2）教育					
15	総括・行政の今後の課題					
評価方法	平常点（15点）及び試験（85点）による総合評価。平常点は、講義中に実施する講義アンケートに対する回答や受講態度等を反映して点数化します。					
評価基準	上記授業単元の内容につき、これをよく理解し、自ら行政について考察することができるものは「A」を与える。前記の理解や考察に不適切な点があるものはその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容の理解自体が不十分なものはその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	本講義は主に国（中央政府）の行政を扱います。都道府県や市区町村の行政について詳しく知りたい方は「政治学特論（行政学Ⅱ）」も受講してください。					